

第7回懇談会における意見一覧

No.	会議体	主な分野・該当箇所	発言者	ご意見・お考え（次期計画への検討事項）
1	第7回懇談会	計画の策定	東京都立大学教授 市古太郎 氏	八王子市は人口減少段階に伴い、税収が減少することも予想される。市民生活への影響が懸念されるが、長期ビジョンではこうした視点を盛り込まなくてもよいのか気になっている。
2	第7回懇談会	計画の策定	東京都立大学准教授 杉原陽子 氏	限られた予算の中で、政策課題の優先順位を付ける必要がある。優先順位を検討するに当たっての考え方の一つとして緊急度と重要度のマトリックスがあるが、長期ビジョンでは、緊急度はさほど高くないが、重要度が高い課題にターゲットを絞るべきである。
3	第7回懇談会	計画の策定	法政大学教授 淵元初姫 氏	「多様性」という言葉が何度も挙げられ、印象に残っている。今後の策定過程の中では、多様性を尊重するための具体的な取組や仕組みづくりを意識することが重要と考えている。
4	第7回懇談会	計画の運用	法政大学教授 淵元初姫 氏	地域における緩やかなつながりづくりには共感するが、その推進のためには誰でも立ち寄れる居場所を、中学校区単位など自転車で行ける程度の範囲に置くことが必要である。
5	第7回懇談会	計画の策定	明星大学教授 河合美香 氏	策定に当たって重要なことは、「わかりやすさ」である。市民みんなが自分事として捉え、共有することができるかどうか重要である。
6	第7回懇談会	計画の策定	明星大学教授 河合美香 氏	八王子市のDX計画も拝読したが、長期ビジョンではこの計画を後押しするという内容であること、市全体で取り組んでいることが分かる。また、デジタル分野は技術が短期間のうちに進展するので、計画に掲載したことは必ず実行しなければならないということではなく、アジャイルに、また状況に応じて柔軟に変更する姿勢も重要であることから、市民に理解を求める内容があってもよい。
7	第7回懇談会	計画の策定・運用	八王子市町会自治会連合会副会長 尾崎敏夫 氏	計画を確実に遂行するためには市民の力が必要である。市民が計画の重要性を理解し、自発的に行動して頂くためには、幅広い市民の声をもとに策定した計画であること等を周知する必要がある。
8	第7回懇談会	計画の策定	八王子市町会自治会連合会副会長 尾崎敏夫 氏	世界的な動きに生活は大きく影響を受けていることから、国内のみならず、世界の課題にも目を向ける必要がある。
9	第7回懇談会	計画の運用	八王子市町会自治会連合会副会長 尾崎敏夫 氏	事業担当者の率直な意見を取り入れられる仕組みづくりが必要である。
10	第7回懇談会	計画の策定	八王子商工会議所常議員 加藤正道 氏	共感できる内容であること、誰にでも理解できる内容であること、長期の使用に耐えられること、八王子市のオリジナリティや世の中との接点が入っていること等が挙げられる。
11	第7回懇談会	計画の策定	八王子商工会議所常議員 加藤正道 氏	整合性のある道筋を描き、納得感のある、社会から求められているビジョンとし、人々の生活の判断基準となることが望ましい。
12	第7回懇談会	計画の運用	八王子商工会議所常議員 加藤正道 氏	長期ビジョンの策定背景（財政や社会情勢など）を説明し、理解して頂くことが重要である。
13	第7回懇談会	計画の運用	八王子商工会議所常議員 加藤正道 氏	進捗状況を随時モニタリングし、評価することも重要である。
14	第7回懇談会	計画の策定	NPO法人八王子子ども劇場代表理事 浅野里恵子 氏	今年の小学校卒業生は2040年に30代になる年代である。長期ビジョンをこれから中学生になる生徒達でも理解できるわかりやすい内容にし、学校教育の中で教えることができれば、将来に繋がっていく。
15	第7回懇談会	計画の運用	NPO法人八王子子ども劇場代表理事 浅野里恵子 氏	八王子市に住んで良かったと思う市民を増やすために、地域を大事にした話し合いを今後何度か設けて頂きたい。
16	第7回懇談会	計画の策定	東京工科大学大学事務局学務部 部長 豊嶋信一 氏	策定に当たっては、市民に理解しやすい内容にすることが最も重要である。また、今後は家族の構成や考え方も変わってくると思う。そう考えると、変わっていく社会環境に対応するために、長期ビジョンの見直しや検証を行う必要があると考える。
17	第7回懇談会	計画の運用	東京工科大学大学事務局学務部 部長 豊嶋信一 氏	2040年には、現在の小中学生が市の中心的な存在になるため、学校教育の場で、長期ビジョンを活用できないかと考えている。ピクトグラムなどを使い、教育に展開しやすい形にするのもアイデアかと思う。
18	第7回懇談会	計画の運用	東京工科大学大学事務局学務部 部長 豊嶋信一 氏	大学の求められる使命やミッションが大きいことを強く感じ、併せて人口減少の中で八王子に大学を残していかなければならないという危機感を覚えた。引き続き大学連携を進めていきたい。
19	第7回懇談会	計画の策定	八王子にほんごの会役員 宮武茜 氏	行政の発信には誰にでもわかりやすい、やさしい日本語を使い、公用言語に近づけるようお願いしたい。
20	第7回懇談会	計画の策定	八王子にほんごの会役員 宮武茜 氏	少ない割合だが増え続けている外国ルーツを持つ方の支援を軽視せず、妊娠中から高齢化問題まで目を向ける必要がある。
21	第7回懇談会	計画の策定	八王子にほんごの会役員 宮武茜 氏	外国ルーツを持つ方にも地域を支える役割が期待されているが、一方で、労働力だけでなく、異文化を持つ人を受け入れる姿勢、市民の理解が必要であり、行政の後押しを期待する。
22	第7回懇談会	計画の運用	八王子にほんごの会役員 宮武茜 氏	子どもの不就学の実態等が把握できていないため、調査とともに、日本語教育とキャリア指導、教職員への研修等が必要である。

第7回懇談会における意見一覧

No.	会議体	主な分野・該当箇所	発言者	ご意見・お考え（次期計画への検討事項）
23	第7回懇談会	計画の策定	八王子にほんごの会役員 宮武茜 氏	東京都のスマートシティ計画が進んでいるが、理解できている市民は少ない。市には、都と市民の間に入って情報共有して頂きたい。
24	第7回懇談会	計画の運用	八王子にほんごの会役員 宮武茜 氏	長期的な観点から、少子化が進んでいる地域の小中学校の統廃合や、地域に開かれた施設として有効活用するなどを再考し、街の活性化につなげていただきたい。
25	第7回懇談会	計画の策定	みなみ野小中学校学校運営協議会代表 荒井嘉夫 氏	八王子らしい地域自治・共創を実現頂きたい。従来の市民活動は、行政に要求することが多かったが、長期ビジョンでは、今後は皆が同じ方向を向いて協働することを重視していると感じた。新たなことを始めるのは大変だが、チャレンジすることに大きな意味があると思う。企業や団体だけでなく、地域の市民も協働の主体として位置付けて頂きたい。
26	第7回懇談会	計画の運用	みなみ野小中学校学校運営協議会代表 荒井嘉夫 氏	突破口としての実験的な取組や仕掛けづくりが重要である。自分のケースで言うと、新しいものを追い求めるのではなく、既存のものを継承するということから市民活動（みなみ野自然塾）が始まった。
27	第7回懇談会	計画の運用	みなみ野小中学校学校運営協議会代表 荒井嘉夫 氏	日々の生活から世界を考え、つくることが重要である。地域の中から小さな声や思い、アイデアなどを拾い、共有する新しい仕掛けが必要である。そのためには、淵元委員の話にもあったが、場や時間の共有が大事だと思う。IT技術も活用していけると思う。
28	第7回懇談会	計画の策定	高尾の森自然学校代表 梶浦正人 氏	策定に当たっては、誰もがわかりやすい言葉であることが最も重要である。
29	第7回懇談会	計画の策定	高尾の森自然学校代表 梶浦正人 氏	今後は持続可能な社会を目指すことが重要である。2040年はいわゆるZ世代が中心となる時代だが、Z世代はSDGsの考えを学んでおり、危機感を持っている。2040年はこのままいけば明るい未来が待っているわけではない。その中で、長期ビジョンがどのような役割を担うかだと思う。
30	第7回懇談会	計画の策定	高尾の森自然学校代表 梶浦正人 氏	2040年の姿が具体的であり、共感できるビジョンであることが望ましい。
31	第7回懇談会	計画の策定	高尾の森自然学校代表 梶浦正人 氏	物の豊かさのみを追い求めるのではなく、心の豊かさにつながるビジョンとなればよい。
32	第7回懇談会	計画の策定	小幡未紀 氏	「切れ目のない質の高い教育」や「世界が「Hachioji」の魅力を体感している」など、すぐには意味が取れない表現が多かった。分かりやすい表現が望ましい。
33	第7回懇談会	計画の運用	小幡未紀 氏	未就学の子がいるが、子どもの将来が心配である。SDGsや環境問題など、小さいうちから課題を認識できる機会があると良い。
34	第7回懇談会	計画の運用	小幡未紀 氏	子育ての中では、経済的な負担や、仕事と子育ての両立の難しさを感じる。サポート頂ける政策があると子どもを更に生みたいという人も増えると思う。
35	第7回懇談会	計画の策定	下村麻子 氏	絹のまちや八王子駅のマニフェストなど、文化継承に重きを置いて頂きたい。
36	第7回懇談会	計画の運用	下村麻子 氏	懇談会に参加して、八王子市や市政について考える機会が増えた。そして、自分も八王子をつくる側の人間なのだとも思った。懇談会は自分にとって市政が他人事ではなくするためのきっかけとなった。こういった機会が多くの人にあると良い。
37	第7回懇談会	計画の策定	拓殖大学教授 新田目夏実 氏	長期ビジョンでは、重点テーマが最も重要であると考えている。その実現のためのヒントが、今までの議論に詰まっていると思う。
38	第7回懇談会	計画の策定・運用	拓殖大学教授 新田目夏実 氏	これまでの議論にあまり挙がらなかった「大学と市の連携」はどこかに盛り込んでもよいと考えている。関心のある大学関係者でワーキンググループやプロジェクトを組成してもよい。八王子市民として大学生に地域貢献をってもらうことも一案である。
39	第7回懇談会	計画の策定	拓殖大学教授 新田目夏実 氏	わかりやすい、納得感のあるビジョンとなるよう、頑張ってもらいたい。長期ビジョンを策定するに当たり、市の思いが詰まりすぎていると思う節があったので、市民に伝わりやすいことを意識して表現してほしい。
40	第7回懇談会	計画の策定	拓殖大学教授 新田目夏実 氏	他のまちにはない長期ビジョンとするため、八王子らしさを意識して、強力に打ち出した方がよい。
41	第7回懇談会	計画の策定・運用	東京都立大学教授 市古太郎 氏	計画の中で、子どもたちにお金の使い道をわかりやすく示すことも必要なのではないかな。
42	第7回懇談会	計画の策定・運用	東京都立大学教授 市古太郎 氏	八王子市でも、「ともに生きていきたい」と思えるコミュニティがあるのではないかと感じた。
43	第7回懇談会	計画の策定・運用	明星大学教授 河合美香 氏	八王子市には優良企業が多く存在しているが、就職先としてはあまり選ばれていないようである。その理由の一つには、「学生が知らない」ということがあるのではないかな。企業と学生のマッチング支援等の取組が今後必要と考える。
44	第7回懇談会	計画の策定	法政大学教授 淵元初姫 氏	市民参加者の方々から先程「懇談会に参加して楽しかった」という意見が挙がり、印象に残った。計画に関わる人たちがみんなが楽しめるものであると良い。

第7回懇談会における意見一覧

No.	会議体	主な分野・該当箇所	発言者	ご意見・お考え（次期計画への検討事項）
45	第7回懇談会	計画の策定	法政大学教授 淵元初姫 氏	長期ビジョンの取組に市職員がより積極的に進め、主体的に楽しいと思えるようにするためには、既存事業のスリム化が必要ではないか。市民がそれをサポートできると良い。
46	第7回懇談会追加意見	計画の策定	こども食堂ふくろうはうす代表 細田明菜 氏	貧困である世帯というのは、八王子全体から見たら少数かもしれないが、少数だからと言って無下にするのはなく、そういった貧しい人（子どもだけでなく、老人までの世帯を含め）が希望をもって明るく暮らせる社会になれば、八王子もおのずと良くなると思う。